



2020年7月15日

北米でお世話になった皆様へ

京都大学北米拠点所長の交代について

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、本学北米拠点の活動にご協力・ご支援賜り、誠にありがとうございます。

この度、本学北米拠点所長である ネイサン・バデノック (Nathan Badenoch) 特定准教授が北米拠点所長を退任の運びとなりましたので、お知らせ申し上げます。在任中に賜りましたご厚情に深く感謝申し上げます。

北米拠点は2018年10月にアメリカ・ワシントンDCに開設し、既存のサンディエゴリエゾンオフィスと共に活動を行ってまいりました。2019年11月には、同窓会の皆様、北米の高等教育機関の皆様をはじめ多くの方々のご参加を得て、1周年記念式典を開催することができましたのは記憶に新しいところです。振り返ってみますと、開設後2年ほどの間に、バデノック所長を中心に、実に150名以上の方々と、北米での高等教育や京都大学の国際交流の現状について意見交換させていただきました。これら数多くの交流を通じて、全学学生交流協定の締結や、共同研究プログラムの創発など、着実に実を結んできており、これもひとえに皆様方のご支援ご協力の賜物と心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大による影響を受け、本年2月以降は当初思い描いていたような活動は展開できておらず、大学全体といたしましても、教育・研究や国際交流のあり方について暗中模索が続いているところです。まだまだ先が見えない状況ではございますが、皆様との強い絆のもとに、北米という地域特性を活かしつつ、ポスト COVID-19 の状況を見据えた新たな活動を展開していく所存でございますので、今後とも変わらぬご指導ご懇情を賜りますようお願い申し上げます。

なお、バデノック拠点所長の後任といたしまして、8月1日より、本学国際戦略本部副本部長の三橋 紫 特任教授が所長代理として着任し、京都に活動基盤を置きつつ北米拠点を運営することとなりましたので、併せてお知らせ申し上げます。

北米拠点の動向につきましては、同拠点 HP (<https://www.oc.kyoto-u.ac.jp/overseas-centers/north-america/>) や Facebook (<https://www.facebook.com/KUNorthAmerica/>)でも発信いたしておりますので、ぜひご覧ください。

末筆ながら、世界的な新型コロナウイルスの拡大が一日も早く収束し、活発な活動が再開できることを切に祈っております。

まずは略儀ながら、書中をもちましてご挨拶申し上げます。

謹白

京都大学副学長 (国際戦略担当)

KYOTO UNIVERSITY

International Affairs Division

Kyoto 606-8501 JAPAN TEL: +81-75-753-5741 FAX: +81-75-753-5367